

動画も交え、旅客案内情報をわかりやすく提供

旅客案内表示システム

JR東日本 秋田駅 様



「こまち」開通を機会に近代的な駅ビルに生まれ変わった秋田駅

平成9年3月22日に秋田新幹線「こまち」が開通したJR秋田駅。「こまち」の開通に合わせて駅周辺の全面改築が進められ、秋田の玄関口にふさわしい明るく近代的な駅ビルが完成しました。首都圏からの旅行者も大幅にアップし、奥羽本線、羽越本線の在来線の拠点にもなっている駅構内は、毎日3万人から4万人近い人で賑わっています。同駅では、少しでもスムーズな旅客案内をおこなえるように、『旅客案内表示システム』を採用。従来のLED表示では実現できなかった映像情報も表示でき、多彩な旅客案内情報を提供できます。

施 主：JR東日本株式会社

納 入 先：JR秋田駅

所 在 地：秋田県秋田市中通 7-1-2

納入年月：1996年(平成8年)5月

納入会社：松下電器産業株式会社 公共システム営業本部 東北支店

北東北松下システム株式会社

システムの概要

みどりの窓口に36インチカラーモニターを4台、コンコースにプラズマディスプレイを1台設置。お客さまに“列車時刻案内”“空席情報”“運賃料金”などの旅客案内をわかりやすく提供しています。また、文字情報だけでなく、企業CMなど動画の送付も可能で、幅広い情報の提供を実現しました。なお、流す情報の制御は、駅長事務室内のコントロール端末でおこなっています。



文字情報だけでなく映像情報も表示可能



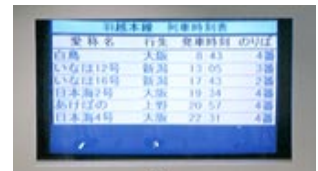
駅長事務室内のコントロール端末



みどりの窓口に設置された4台の36型カラーモニター



コンコースに設置された26型プラズマディスプレイ



表示例：列車時刻案内



表示例：空席情報



表示例：運賃料金



表示例：動画情報

システムの特長

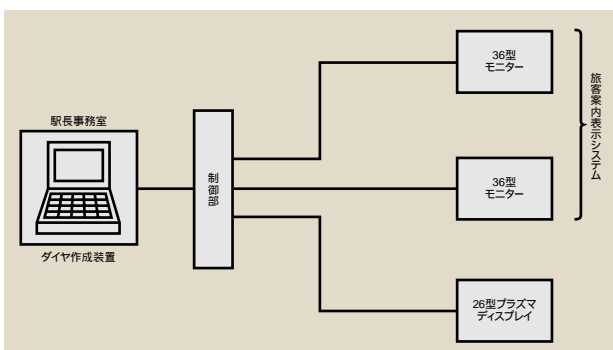
文字情報だけでなく映像情報も表示でき、多彩な情報の提供を実現。

『旅客案内表示システム』では、“列車時刻案内”“空席情報”“運賃料金”といった、お客さまが最も知りたい情報を定期的に出送することが可能です。表示する情報は、駅長事務室内のコントロール端末で制御。内容、時間、順序などをあらかじめ登録しておけば、自動的に情報を出送します。なお、従来のLED表示では文字情報の提供だけだったが、企業CMを中心とした映像情報にも対応できるようになり、より多彩な情報の提供を実現します。

情報端末には、視認性にすぐれた36型カラーモニターと26型プラズマディスプレイを採用。

みどりの窓口には、視認性にすぐれた36型カラーモニターを情報表示用端末として採用。多くの情報を必要とする旅行者に対して、効果的な旅客案内情報を提供しています。また、コンコースの新幹線用改札の上部には26型プラズマディスプレイを設置。CMなどの動画情報も表示でき、新幹線利用客はもちろん、到着客を待つ方々への有効な情報提供にも一役買っています。

システム図



平成9年3月22日に開通した秋田新幹線「こまち」

扱いやすいシステムの構築が可能。

同システムは、自動放送、各種信号設備、マルス装置などインターフェースをとることにより、データの自動更新を容易におこなえ、入力作業を大幅に軽減します。

おもな納入機器

みどりの窓口		
36型カラーモニター		4
コンコース		
26型プラズマディスプレイ		1
駅長事務室		
14型カラーモニター		3
29型カラーモニター		2
CPU機器		1式
CD-MUSICプレーヤー	WB-655	1
タイムラプスビデオ	AG-6730	2
カセットプレーヤー		1